

猛暑、超大型台風など、自然の驚異を感じる事が多いですね。先日の台風の時には、送り時間を早めさせていただきましたが、もし通常の時間にお送りしていたら・・・大変なことになっていたのではないかと思います (> <)

写真で振り返ると、8月はおやつ作りをたくさんしました。特に、かき氷機は何回も活躍！！昔ながらの機械は懐かしかったですね。

いきいき

NO.26 平成30年9月 だより

あわら複合ケアサービス

TEL 0776-77-2282

あわら市二面2丁目302番地

白玉入りかき氷を食べました
あんこも入っていて、とてもおいしかったです (^ ^)



8月の風景



利用者様からいただいた
瓜で、漬物を作りました



～第3回運営推進会議の報告～

開催日時 8/22(水)12:00～	
参加者 あわら市地域包括支援センター職員 1名 二面区長 二面区民代表 2名 事業者 5名	主な議題 ・昼食試食会 ・事業所からの報告(登録者数、主な活動状況、ひやりはっと報告、苦情報告等) ・委員からの意見・助言等
主な意見・助言等 ▶ 食事は栄養のバランスも良く、野菜も豊富で量もしっかりあると感じた。食材はどこから仕入れているのか？	返答・対応 ▷ 《栄養士より》 地産地消を心がけている。魚は魚屋から、肉は肉屋から仕入れ、旬のものが食べられるように心がけている。

この他にも助言等をいただいております。
貴重なご意見ありがとうございます。

次回は **10月17日(水) 13:30～14:30**
の予定です。



手作りおはぎで、
お誕生日の利用者様を
お祝いしました



高齢者にやさしい車について

介護士より



誰もが使いやすいクルマが増えています

老若男女や障害の有無を問わず、できるだけ多くの方が使いやすいように考えられたデザインのことをユニバーサルデザインといいます。取り扱いが簡単で、わかりやすく、安全かつ楽に使えることなどがその特長です。ユニバーサルデザインは自動車のデザインにも取り入れられていて、地面と自動車の床の段差が少なく乗り降りがしやすい「低床車」や、日本語が併記されて見やすいコントロールパネル、乗り降りがしやすいように大きなドアや、リモコンで動く自動スライドドアなどがあります。これらは高齢者や障害のある方はもちろん、子ども連れや運転に不慣れな方などにとっても使いやすい工夫だと言えます。



福祉車両を知っていますか？

しかし、自分一人では自動車の乗り降りができない場合など、体の不自由な方などには、一般向けの自動車より福祉車両が便利です。福祉車両とは、体の不自由な方でも使いやすいように、さまざまな配慮や工夫がされている自動車のことです。とはいえ、特殊な架装を施した福祉車両であっても、見た目は一般の自動車とほとんど変わりませんので、車いすマークや青いクローバーのステッカーが貼られていなければ、まず見分けがつかえません。実はミニバンやセダン、軽自動車など、多くの自動車に福祉車両が設定されています。ボディカラーや座席の色なども広く選べるようになってきています。福祉車両は架装費がかかるため、普通の自動車よりも高くなってしまいうことが難点ですが、一方、消費税が免除されるなどの優遇措置や様々な助成措置もあります。

次回は、福祉車両の種類と選び方について紹介します。

ケアサポホームページより



★あわら複合ケアサービスの精神★

- 理念 私たちはいつもあなたのそばにいます
- 目標
- ① 自宅での介護を希望されるご家族様を応援します
 - ② 日常生活でできる活動を通して筋力低下を防ぎ、脳の活性化を図ります
 - ③ 地域に密着したサービスを提供します

